



# さきがけ「未来材料」領域 2期生 成果報告シンポジウム

日時

2026年3月11日(水) 10:00~17:35

会場

日本科学未来館 未来館ホール(7階)

概要

さきがけ「未来材料」領域の成果報告会を開催いたします。本さきがけ研究領域は、2021年10月に立ち上がり、元素の複合化による「多元素化」、元素の配置制御等による材料システムとしての「機能複合化」、非平衡状態や速度論的制御を利用する「準安定相」の活用等の視点で、夢のある材料・プロセス研究を目指しています。今回のシンポジウムでは、2期生として2022年度に採択された課題の研究成果を紹介いたします。いずれの課題も挑戦的で独創的であり、多くの革新的な成果が生まれました。皆様のご参加をお待ちしております。

定員

200名

参加費

無料

お申し込みはこちらから

[https://form2.jst.go.jp/s/Future\\_Materials\\_260311](https://form2.jst.go.jp/s/Future_Materials_260311)



主催



国立研究開発法人  
科学技術振興機構  
Japan Science and Technology Agency



問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構 戰略研究推進部  
さきがけ「未来材料」領域担当  
E-mail: [miraizairyo@jst.go.jp](mailto:miraizairyo@jst.go.jp)

# プログラム

開始時刻	終了時刻	時間	座長	報告者	項目
9:30	~	10:00	0:40		受付 9:55までに着席ください
10:00	~	10:05	0:05		諸連絡
10:05	~	10:15	0:10		シンポジウム開会挨拶(陰山総括)
10:15	~	10:45	猪熊泰英	藤野智子 横浜国立大学	異種混合配列オリゴマーによる超高伝導性材料の創製
10:45	~	11:15		橋本英樹 工学院大学	高度な構造秩序を内包する酸化物ガラスの創製
11:15	~	11:30	0:15		休憩
11:30	~	12:00	梅津理恵	高田尚記 名古屋大学	金属3Dプリンタを用いた非平衡組織・準安定相の創出
12:00	~	12:30		伊藤佑介 東京大学	圧力・温度場の時空間的局在化によるメカノケミストリーの開拓
12:30	~	13:40	1:10		昼食
13:40	~	14:10	楊井伸浩	相馬拓人 東北大学	強相關窒化物薄膜の創製
14:10	~	14:40		新津甲大 物質・材料研究機構	欠陥内局所物性を活かしたバルク力学機能探索
14:40	~	14:55	0:15		休憩
14:55	~	15:25	藪内直明	山内幸正 九州大学	アルカリ水光分解を促進する分子性触媒の創製と制御
15:25	~	15:55		八木亜樹子 名古屋大学	新奇ダイヤモンド構造体の創製
15:55	~	16:10	0:15		休憩
16:10	~	16:40	中西和樹	豊田良順 東北大学	分子モーターを用いたDNA超らせんの光制御
16:40	~	17:10		金森主祥 京都大学	新しいシリコーンの水溶液化学による多孔性ソフトマテリアルの創成
17:10	~	17:30	0:20		未来材料の将来展望(研究アドバイザー 太田裕道、 研究総括 陰山洋)
17:30	~	17:35	0:05		諸連絡

※予告なしに変更する場合があります

## 会場アクセス

### 新交通ゆりかもめ

「東京国際クルーズターミナル駅」下車、徒歩約5分  
 「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

### 東京臨海高速鉄道りんかい線

「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

